

ゴムローラー（下、チェーン駆動用）の交換手順

チェーン駆動の掛かっているローラー（下ローラー）の外し方 (KAP-800ACH用)

1.メイン電源をOFFしてください

（電源を入れたままですと間欠運転が始動しチェーンに巻き込まれる恐れがあります。）

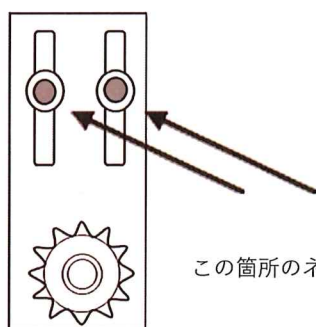
※事前に上ローラーの取り外しをお願いします。

2.駆動チェーンを緩めます

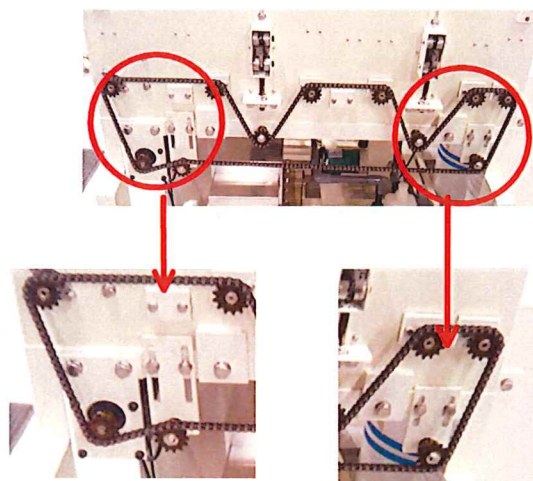
・テンション用のスプロケットを緩めます。

機種によりスプロケットの形状が異なる場合があります

(テンション用スプロケット、標準仕様)



この箇所のネジを緩めます



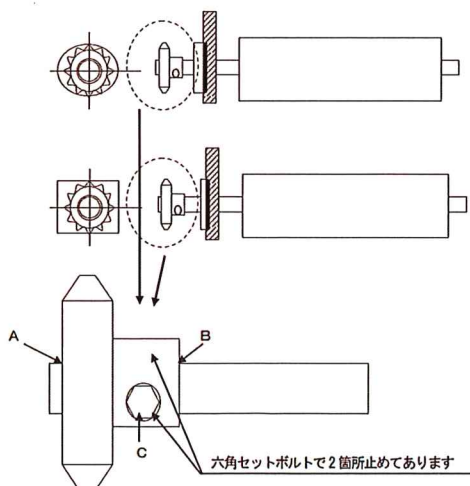
3.必要な場所のチェーンを外します。

ドライバーなどの金属の棒で外すか、テンション用のスプロケットを完全に取り外して取ります。（チェーンのスプロケットへの掛け方を写真を撮るかメモしておいて下さい。）

4.ローラーに付けているスプロケットを取り外します。

(スプロケット概略図)

※軸受けには2種類あります。（ベアリング入り軸受け、ルーロン軸受け）



●ベアリング入り軸受け
両端の下ローラーになります。

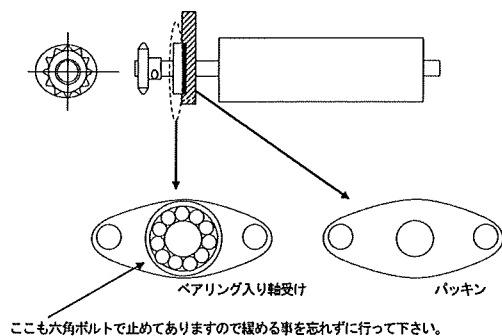
●ルーロン軸受け
両端以外の下ローラーになります。

①六角セットボルト2箇所を緩めます。

②A方向へスプロケットを取り外します。

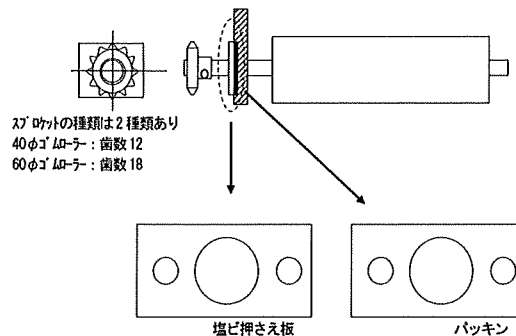
5.軸受けを外します。

(ベアリング入り軸受けの場合)



- ①ベアリング入り軸受けの六角ボルトを緩めて下さい。
- ②ベアリング入り軸受けの土台部2箇所の+ネジを取り外して下さい。
- ③パッキンがついていますが、軸受けが取り外せます。

(ルーロン軸受けの場合)

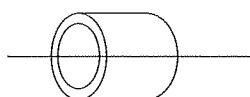


- ①ルーロン軸受けの土台部2箇所の+ネジを取り外して下さい。
- ②パッキンがついていますが、軸受けが取り外せます。

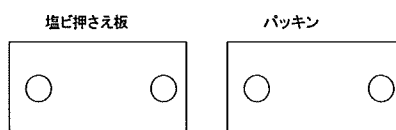
◆反対側の軸受けも同様に外して下さい。

※ルーロン軸受け部にはルーロンが入っています。ルーロンを失わないよう気を付けて下さい。
ルーロンは消耗品です、摩耗が激しい場合は交換になります。

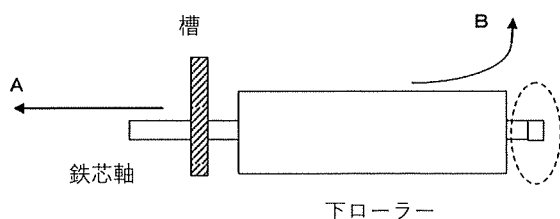
(ルーロン)



(反対側の軸受け)



6.下ローラーの取り外し



- ①軸をA方向（スプロケットギア側）へ移動させ反対側が槽よりB側が外れます。下ローラーが重たいので注意して下さい。
- ②軸をB方向へ持ち上げますと下ローラーが槽より抜けA側が取り外しが出来ます。

7.下ローラーの取り付け

取り外しの逆手順で行ってください。

ルーロンの取り付け、パッキンの取り付けを忘れないようにしてください

8.ゴムローラー調整

上下ゴムローラをセットし終えたら、④ドライバーでネジを締めます

左右均等に徐々に絞めていき、ブロックが手で動かしても動かなくなったら

一旦止めます。この作業を左右同様に言い、そこから1~1.5回転締めて終了です。

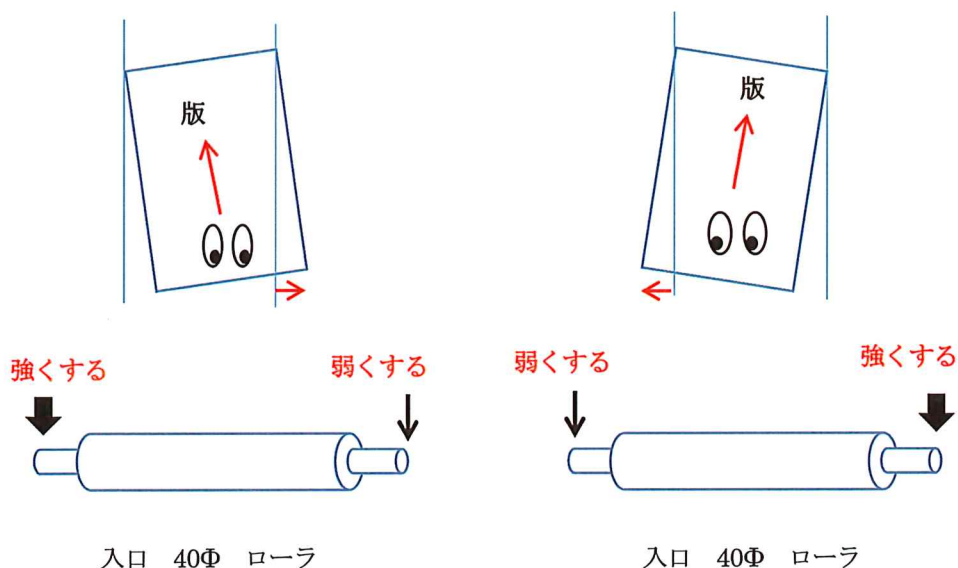
9.版送の確認

挿入後の版の進行状態はどうですか？

版は直進していますか？

版尻が左か右に曲がる場合は調整が必要です。

① 版尻が右に曲がる場合 → 左側のローラ圧を強める。 又は、右側のローラ圧を弱める。	② 版尻が左に曲がる場合 → 左側のローラ圧を弱める。 又は、右側のローラ圧を強める。
---	---



押さえブロック

ローラ圧の調整方法

ローラを上下重なるように設置し、押さえブロック（左図）が動かない程度に軽くドライバーで締めて下さい。

押さえブロックが動かないことを確認したら

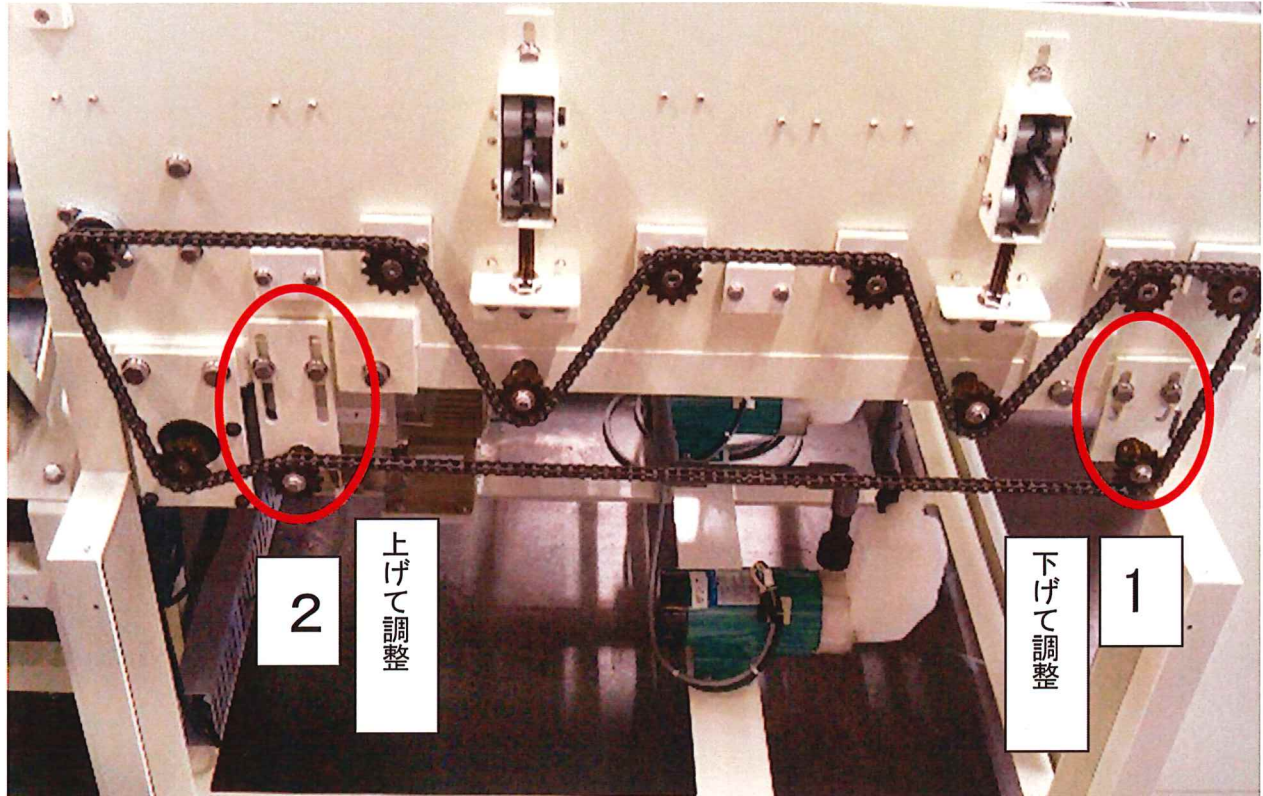
1/2~1 回転程度ドライバーで締めて下さい。

締め過ぎは液絞りや版の送りに影響が出ますので注意して下さい。

チェーン調整方法について

チェーンの張り調整方法について

ゴムローラが不規則な動き、一時停止した時、チェーンの異音が鳴る場合の調整方法です。
または駆動ゴムローラ交換後に行う作業です。



A. 調整用スプロケットによる調整

チェーンが緩んできた場合、以下の3方法で調整可能です。

スプロケットの抑えネジを緩めて調整します。

- (1) ①のスプロケットを**下げて**張りを調整してください。
- (2) ②のスプロケットを**上げて**張りを調整してください。
- (3) 上記の場合で調整ができない場合にチェーンが緩んできた場合、赤マル印のスプロケットを交換しても調整は可能です。

それでも調整が困難な場合はチェーンの交換になります。